



外観イメージ(北面)



外観イメージ(北東)



玄関ドア前 イメージ 【グリルシャッター閉】 ポーチ イメージ



神輿山車置場前 イメージ 【グリルシャッター開】 ポーチ イメージ

神輿山車置場の出入りシャッター  
エントランスとポーチをグリルシャッターで緩く遮り、ポーチ部に広報等配布BOX(70班分)を設置し、雨天時の出し入れ、閉館時の利便性を配慮。

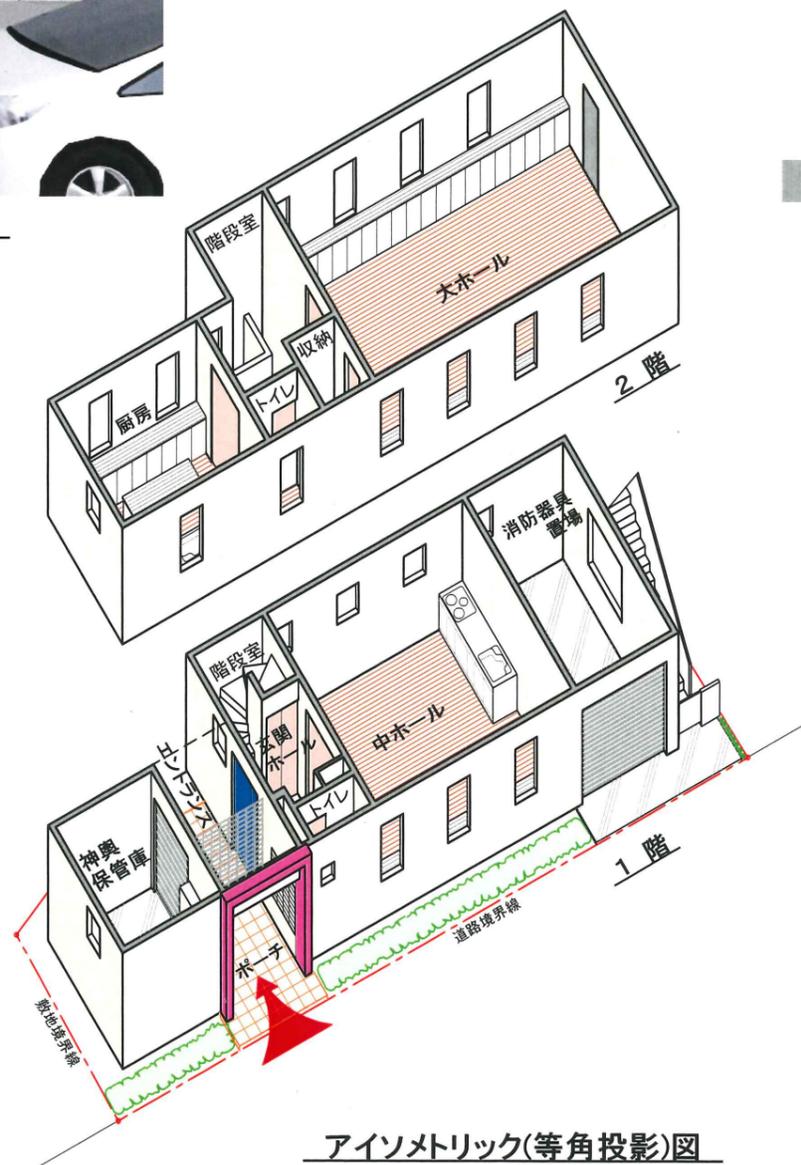


配膳カウンター: 回遊動線を確保し、大人数での厨房の利用に配慮  
カウンター下部は、収納量が大きく、使い勝手の良い引出し式

2階厨房イメージ



2階大ホール イメージ



アイソメトリック(等角投影)図

設計主旨

- 自治活動がより一層活性化される拠点  
地域イベントや、住民の多種多様な活動を通し、住民間のさまざまな情報交換を触発する場として又、より活発な街づくり・自治活動の期待と満足感が共有され、新たな活動の開始と参加意欲をかきたてる拠点となることを期待されます。
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用し、交流できる施設  
目的に応じたいろいろな使い方ができ、出会いや交流のきっかけづくり、子供から高齢者にとっても使いやすく、人々が親しみと愛着を持ち、町内のシンボルとなるファサード(外観)としました。
- バリアフリー(ユニバーサル)  
館内を土足とし、床段差のない、多くの方に利用・参加しやすいユニバーサルデザイン。
- 高い耐震性能  
災害時には、防災拠点としての機能を果たすべく、高い耐震性能(建築基準法の1.5倍を目標)。

